

【名木山】新ゴンドラ計画 住民説明会 議事録

○開催日時 : 令和7年11月10日(月) 午後5時～6時

○開催場所 : 八方文化会館

○主催者 : 八方尾根開発株式会社、白馬観光開発株式会社、株式会社サココンサルタント、株式会社環境アセスメントセンター

○立会人 : 白馬村建設課

○参加者数 : 44名

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 事業主挨拶
4. 新ゴンドラ計画の説明

※資料「【名木山】新ゴンドラ計画 住民説明会」に沿って説明

1. 事業概要
2. 開発位置図
3. 完成イメージ図
4. 名木山ゴンドラリフト

5. 質疑応答

住民A

- ・夜間の利用可能なトイレが少ないように思えるので、施設内のトイレを夜間使用可能とすることはできないでしょうか。

(回答) 駐車場利用者向けに原案では外向けのトイレを用意しています。

施設内のトイレ利用については安全上の問題やテナントとの関係もあるため一定の時間で施錠管理することとしています。

- ・駐車場の収容台数が増加するとのことですが、降雪によるスペース縮小や路上駐車・迷惑駐車等を想定しての台数になりますか。

(回答)はい。想定しての台数です。

- ・駐車場 1 を立体駐車場とする検討は行われていますか。

(回答)通年稼働した場合の収支を検討しています。

将来的に検討しないということではありませんが、現状では平置きの駐車場で検討を進めています。

- ・駐車場からゲレンデへの移動で横断歩道を使うことになると思いますが、安全性を考慮すると立体駐車場を建築して 2 階にスロープを設けることで安全性が高まるのではないのでしょうか。

(回答)スキー場利用者全体の約 70%が名木山を利用することになると認識していますが、スキー場全体が抱える問題としてゴンドラ「アダム」だけではなく他のリフトも老朽化が進んでいます。今後、それらリフトの対応も踏まえて検討した結果として今回の開発では平置き of 駐車場とし周辺の駐車場整備と共に必要台数を確保することとしました。

- ・後々に名木山を一極化しないということは「名木山センターハウス」はどうなるのでしょうか。立体駐車場の建築と共にインフォメーション等の諸設備を念頭に置いた建築を検討する方がいいのではないのでしょうか。

(回答)現段階では開発内容を大きく変更することは難しいため貴重なご意見として受取らせていただきます。

住民 B

- ・名木山をベースにするということは、咲花エリアを滑走しているお客様が名木山ゴンドラへ行くためにはどうすればよいのでしょうか。

(回答)現状のゴンドラ「アダム」がなくなった後も白樺第 1 リフトは残していく方向で考えていますので名木山へ行くルートとして白樺第 1 リフトの活用をお願いします。

住民 C

- ・名木山の駐車場 2 には、初心者用のムービングベルトを配置する予定となっていなかったのでしょうか。

(回答)当初は初心者エリアとしていましたが、諸事情により計画を変更しました。

来春、現状のムービングベルトを咲花エリアへ移設する予定としています。

その後、名木山へもムービングベルトの設置を検討しています。現ミデアムヒルシャンツェ付近への設置について村と交渉中です。

住民 D

- ・八方尾根スキースクールに勤務していますが、現状でも繁忙期になると完成イメージ図のロータリーから出た道路はスキー場クローズの時間帯になるとジャンプ台から八方尾根入口交差点

までかなりの渋滞が発生しています。

イメージ図からは道幅が拡幅されているなどの変更が見られませんので、駐車場出入り口でかなり混雑することが予想されます。

そのため要望となりますが、ジャンプ台方面からエコーランド方面に流れる道を用意することはできないでしょうか。

また、八方入口交差点（現状一車線）に右折専用信号と右折レーンを設けることも村との協議の上検討してほしいと思います。

（回答）事業者側も大きな課題として対応方法について検討しています。

エコーランドへ流れる道については比較的短い距離であることも含めて協議を進めていくこととしています。道路の拡幅についても白馬村に相談し進めていくこととしています。また、交通に関しては事業者内で分科会を作って対応策について検討を進めています。スキー場側だけでは解決できない問題であるため、行政や警察へも相談する必要があると考えています。

住民B

- ・開発エリアの北側にあるシオール前の道は現状でかなり狭いが拡幅する検討はされていますか。この道は、周辺の宿泊施設から徒歩や送迎車でスキー場へ向かうお客様が多いため検討してほしいと思います。

（回答）今回の開発区域外ではありますが、ジャンプ台線から入る S 字の道は八方区が白馬村に要望して開けてもらった経緯があり、シオール前までは拡幅の計画がありました。望翠荘様の開発が進められているので内容を確認しながら進めていきたいと思っています。

住民A

- ・ゴンドラの発着点を検討する経緯として、第 3 駐車場や八方インフォメーション発着案の検討は行われていますか。

（回答）検討は行っています。

- ・シャトルバスの運行で、お客様が乗りにくい、バスの本数が不足している、運転手が不足している等の問題を抱えているとしたら、その問題解決方法も検討してほしい。

（回答）シャトルバスについては交通渋滞の問題と共に内部で検討を進めています。

開発拠点に名木山を選んだ理由の一つとして道路幅の広さがあげられます。

そのため、大型バスの利用も併せて HAKUBA VALLEY と共に改善に向けた検討を進めていきます。

6. 閉会